

第8回日本気象学会夏期特別セミナー（若手会夏の学校）開催のお知らせ

第8回夏の学校実行委員会

気象学会の若手有志によって始められた「夏期特別セミナー（若手会夏の学校）」も、好評のうちにこれまで7回を数えました。8回目となる今回は京都大学が主管で、右の要領で行うことになりましたのでお知らせします。

気象学関連分野の講師を招いての講演に加え、参加者による研究発表の機会もポスターセッション形式で設けます。また時間的にも余裕をとっていますので、交流や討論を深めて有意義に過ごしていただけるものと思います。多くの皆様の参加をお待ち申し上げます。

要項・参加申込書の送付を希望される方は、右の連絡先までお知らせ下さい。なお**参加申込の締切は6月28日（金）**と致します。

記

期 日：平成8年8月3日（土）午後
～5日（月）午前

場 所：京都府立ゼミナールハウス
京都府北桑田郡京北町字下中
(JR 京都駅からバス約90分)

招待講演

津田敏隆（京都大学超高層電波研究センター）

「気象学と超高層物理学の接点」

隈 健一（気象庁数値予報課）

「数値予報の現状と将来—現場からの報告—」

連絡先

〒606-01 京都市左京区北白川追分町

京都大学理学部地球物理学教室

気象学研究室夏の学校実行委員会

堀之内 武

Tel. (075) 753-3934

Fax. (075) 721-9249

e-mail. summerschool96@kugi.kyoto-u.ac.jp

編集後記：百武彗星が地球に接近し、久しぶりに夜間の天気は気になる日が続きました。私は、残念ながら肉眼で見ることができませんでしたが、夜空に目を凝らした方も多かったのではないのでしょうか。

さて、気象庁は「〇〇県××地方では晴後曇りでしょう」といった従来の予報表現に加え、平成8年3月から新たに「分布予報」と「時系列予報」の発表を開始しました。分布予報は、約20 km四方の格子を単位として、3時間毎の代表的な天気、平均降水量、気温について24時間先まで分布図形式で発表します。時系列予報は、それぞれの地域の代表地点（全国で138か所）について3時間毎の天気と気温の予想を同じく24時間先まで発表します。

これらは、アメダスやレーダーによるきめ細かな観測データと数値予報などの予報技術の進歩を背景に、

社会の多様なニーズに答えようとするもので、(財)気象資料支援センターから提供されています。

すでにテレビの気象情報番組では、これらの予報を使った独自の解説が行われています。また、新聞にも時系列予報が掲載されるなど、生活情報や防災情報として幅広く利用され始めています。分布予報や時系列予報から自分の予定に合わせた自分だけの気象情報が気軽に入手できるようになる日もそう遠くはないでしょう。

編集委員になって1年が過ぎました。「天気」が気象に関わるすべての方々アンテナとなればと思っています。みなさんからの「天気」に対する要望や質問、各分野での最新情報等なんでも結構ですから気軽に編集委員会までお寄せ下さるようお願いいたします。

(滝下洋一)